令和6年度 研究授業
国語科 学習指導案

令和6年 6月 14日(金)・2校時

【授業者】池田 豊子

【单元・題材】ものの見方・感性を養う 俳句の世界 俳句十句

【学年・組】3年 2組

【場所】3年2組教室

三原市立第五中学校

3年2組 国語科学習指導案

【指導者】 池田豊子

【単元名】 ものの見方・感性を養う 俳句の世界 俳句十句

単元観について

本単元は中学校学習指導要領国語編[知識、技能] (2)「情報の扱い方に関する事項」ア「具体と抽象などの情報と情報との関係について理解を深めること。」「[思考、判断、表現力]・[C読むこと] (1)ウ「文章の構成や表現の仕方について評価すること。」を受けて設定したものである。本教材は中学校で初めて学習する本格的な俳句学習である。俳句は四季の変化に富む日本の風土の中で生まれ、五音七音を基調とした日本独特の文学である。教科書に掲載された俳句の鑑賞と自身の創作の両方を位置づけることにより対象への見方や感性を言葉で表現する力をつけるのに適している。既習内容としては、小学生のとき「俳句・短歌の概略と創作」を、中学2年次では教材「短歌の世界」において自分の気に入った作品について感想を書いている。

生徒観について

・本学級生徒は、授業外では明るく大きな声で声をかけてくれるが、授業では声が小さくどちらかといえば受け身的な態度で静かに過ごしているという生徒が多い。2年次には 自己表現活動として短歌を また修学旅行では旅の思い出を川柳でつづるといふ韻文についての学習活動経験をもつ。2年次のNRTでは標準偏差47.7であった。また3年時の春休み明けテストで実施された実力テストにおいて意見文を書く問の得点率32%以下の生徒が31.8%いた。この点から自分の思いや考えを書く活動をより仕組む必要があると考える。

指導観について

・単元を貫く目標が「鑑賞文を書くこと」と「俳句を詠むこと」であることを生徒に伝える。「鑑賞文」を書くにあたっては 俳句十句の中から気に入った作品を選ぶことが肝心である。そのため、なぜその作品を選んだのかなど、鑑賞文を書く前に鑑賞シートを使用する。又、言葉の意味や作者の時代背景などはクロームブックの検索機能を利用させ、作品についての理解を深めさせることで、もの見方・感じ方を広げる工夫をしていく。俳句の創作については、テーマを「三原・ふるさとを詠む」とし、まずはクロームブックの検索機能を利用し三原に関する題材をあつめる。またイメージを膨らませるため本校の図書司書の藤原さんより生徒の生活を取り巻く四季折々の写真を提供してもらおう。そのうえで表現しようとしている内容にふさわしい季語を、検索させていく。自身の生活や故郷を振り返る活動を通じて豊かな感性の育成をめざしたい。なお、本教材はシラバスにおいては7月頃の学習内容であるが、創作後保護者参加での「俳句コンクール」を実施するつもりなので、時間に余裕をもたせるためについて、順序を入れ替えている。

単元の目標

・「俳句の世界/俳句十句」では「鑑賞文」を書くことを通じて、使用されている言葉の意味や深さ・作者の思いを捉える力を身につけさせたい。また「俳句を創作」することで「俳句の決まり事」を理解するとともに自分の思いを言葉で表現する力を身につけさせたい。

指導と評価の計画

(1) 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
① 俳句の決まりや表現の特徴をもとに、俳句について理解を深めようとしている。 ((3)ア)	① 「読むこと」において、俳句に使われている語句に注目し 情景や心情を捉え、評価している。 (Cウ) ② 「読むこと」において、選んだ俳句について、自分の考えをもっている。 (Cエ) ③ 「書くこと」において自分の選んだ俳句に対しその魅力をわかりやすく伝えようとしている。 (Bア)	① 自分の選んだ俳句について「鑑賞文」を書こうとしている。 ② 自分の生活をふりかえり、三原を題材にした俳句を詠もうとしている

(2) 単元指導計画 (全10時間)

次	学習内容	時間	評価規準	評価の観点			評価の方法
				知技	思判表	主学態	
1	俳句の約束事を理解する	1	俳句の約束事を理解している。 (リズム・季語・切れ字・句切れ) ((3)ア)	◎			期末テスト
2	俳句の表現の特徴を理解する	1	俳句の表現の仕方を理解している。 (字余り・破調・一物仕立て・取り合わせ) ③((3)ア)	◎			期末テスト
3	「松尾芭蕉」の俳句を例として鑑賞文の書き方を理解する 【ICT】	1	鑑賞文と感想文の違いを理解し、鑑賞シートを書いている		○	◎	鑑賞シート

4	俳句十句の大まかな意味をつかみ、自分の気に入った俳句を選ぶ	1	情景を想像しながら、リズムを意識して音読できている。 情景や心情をとらえ、選んだ理由を明確にしている (Cウ)		○ ◎	授業態度	
5	自分の気に入った俳句について調べ鑑賞シートに記入する 【ICT】	1	鑑賞シートを書いている		○ ◎	鑑賞シート	
6	自分の気に入った俳句について鑑賞文を書く パフォーマンス課題【鑑賞文】	1	鑑賞文を書いている (Cウ)(Cエ)(Bア)		◎	鑑賞文テスト	
7 (本時)	俳句を詠むための注意事項を理解し、俳句創作のための題材をさがす 【ICT】	1	・題材をさがしプリントに記入している ・俳句の決まり事を理解し季語を探している	◎		○	題材プリント
8	俳句を詠む パフォーマンス課題【俳句創作】	1	約束事を理解した俳句を詠んでいる ③((3)ア)	○	◎		俳句
9	俳句コンクール	1	人の作品の良さを認めることができる			◎	投票用紙
10	自分の作品を「筆ペン・行書」で書き展示する	1	自分の作品を行書で丁寧に墨書きしている	◎			作品

本時の学習

(1) 本時の目標

俳句の決まりや表現の特徴をもとに、俳句について理解し 題材と季語をクロームブックや歳時記で調べることができる。[知識・技能] 情報の扱い方に関する事項ア

(2) 本時の学習展開

学習活動	指導上の留意事項	評価規準 (評価方法)
1 既習事項の確認をする。(前時の振り返りをする。) 【 5 分】		
○漢字トレーニングをする。		
2 本時のめあてを確認し、課題を発見・共有する。 【 2 分】		
○めあて・課題を書く。	○本時使用するプリントを配布しめあてを記入させる。 ○校内俳句コンクールを実施することを知らせる。 ○「歳時記」を配布する	

【めあて】俳句を創作するための題材と季語を探そう

3 本時の課題解決に向けて考える。【38分】		
<p>課題の設定</p> <p>○既習事項を振り返る</p> <p>○俳句づくりの注意点を確認する</p> <p>情報の収集</p> <p>○題材・場面を探す</p> <p>○自分の表現したいイメージに近い季語を探す。</p>	<p>○決まりごとの確認</p> <p>○今回は無季自由律ではなく有季定型で作ることを確認する</p> <p>○俳句は写真のように「一瞬を切りとる」文学であることを伝え、「写真」を提示する</p> <p>○「感情を表す語」を使用しない</p> <p>○藤原先生撮影の写真を掲示</p> <div data-bbox="480 607 1015 714" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>ICTの活用① タブレットを使って題材・場面を探す。</p> </div> <p>○参考 三原市 HP 三原観光 navi 検索キーワード【三原】</p> <p>○「歳時記」を利用させる</p>	<p>○プリントへの記入</p> <div data-bbox="1150 297 1497 891" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>A 基準： 故郷三原を振り返り 詠みたい題材と季語を 結び付けている</p> <p>B 基準： 詠みたい場面は決めた が季語がまだ結びつ いていない</p> <p>C 基準： 詠みたい題材が決まらない</p> </div> <p>【支援を要する生徒への手立て】 どの HP を見たらよいかわから ない生徒には検索キーワ ードを伝える</p>
4 本時の学習を振り返る。【5分】		
<p>まとめ・振り返り</p> <p>○振り返りを書く。</p>	<p>○次回は創作作業に入ることを伝える</p> <p>○R80を使用した振り返りを行う</p>	

(3) 板書計画

写真

写真

写真

写真

写真

【三原をテーマに題材を探そう】

夏の空
若葉かな
こいのぼり
梅雨曇り

・例 授業中
窓から見えるは

【感情を示す語を使わない】

切れ字・かな・や・けり
季語
五七五

【俳句の約束事】

五七五

めあて
俳句を創作するための
題材と季語を探そう

<ICT活用のポイント>

ICTの活用①

情報収集の場面で、タブレットを使って題材・場面を探すことで作品についての理解を深めさせることで、ものの見方・感じ方を広げる工夫をしていくことを目指した。